「仙台市政策重点化方針2020」を策定しました

震災復興と時代の情勢を踏まえて方針を策定

平成23年3月に策定した「仙台市基本計画（平成23～32年度）」が、中間となる策定後5年を迎えます。また、平成23年11月に策定した「仙台市震災復興計画」が本年度末で終了しますが、今後も被災された方々の生活再建をはじめ、残された復興への取り組みを着実に進めていくとともに、震災の経験と教訓を踏まえたまちづくりを進めることが重要です。

市では、「仙台市震災復興計画」の理念を発展的に継承しながら、人口減少社会の到来や地下鉄東西線の開業など、本市を取り巻く状況の変化を踏まえ、今後5年間、本市が重点的に取り組むべき政策の方針をまとめた「仙台市政策重点化方針２０２０」を策定しました。

重要な施策を加速度的に推進

この方針では、三つの政策重点化方針と、八つの戦略プロジェクトを定めています。今後はこの方針に基づき、仙台市が目指す理想の都市像「ひとが輝く杜の都・仙台」の実現に向けて、重要な政策を加速度的に進めていきます。

1 3つの政策重点化方針

1 防災と環境を基軸とした未来を創るまちづくり

大震災の教訓を生かし、災害に強いインフラ等の都市基盤の整備や、豊かな自然を生かした防災、エネルギー自律型の都市づくりを進めます。また、市民と事業者、行政の協働により自助・共助を担う地域づくりを進め、震災の教訓の継承と学びを通じて「防災文化」を育み、「防災環境都市」としてのブランドの確立を図ります。

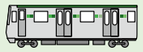
2 社会のイノベーション（※）を生み人口減少に挑むまちづくり

将来の人口減少を見据えて、中小企業の活性化や起業の促進等により、安定した雇用の創出と人材の確保・定着を図ります。また、若い世代が子どもを産み育てることができる環境づくりや、ライフスタイルに応じた住環境の維持・創出を進め、暮らしやすい都市としての魅力を創出します。

※イノベーション：新たな仕組みの導入等により、新しい価値を創造すること

3 東西線開業を契機とした都市の楽しさを創造するまちづくり

東西線開業を契機とした人とまちの躍動や、仙台空港民営化など世界も視野に入れた広域交流の活性化を見据え、骨格交通体系の十分な活用を進めます。また、民間主導の取り組みへの支援等を行い、人と人が出会い、都市の楽しさが創造されるまちづくりを進めます。



この方針に基づく取り組みを推進するため、多様な地域主体が力を発揮、連携できる環境づくりや、市役所の局・区連携などにより、総合的な都市経営を展開します。

2 8つの戦略プロジェクト

1 防災環境都市づくり

東日本大震災の経験と教訓を踏まえ、将来の災害や気候変動の脅威にも対応できる都市を目指し、防災や環境にも配慮しながら、安全・安心で快適性の高いまちづくりを進めます。

- 防災環境「まち」づくり
- 防災環境「ひと」づくり
- 震災の経験と教訓の発信、世界を視野に入れたブランディングと東北全体の復興

震災を後世に伝える「せんだい3.11メモリアル交流館」（荒井駅）

2 東部被災地域の総合的復興

東部被災地域では、津波に対する防災・減災対策を継続するとともに、住宅再建や収益性の高い農業への転換に向けた拠点づくり、海や自然と触れ合える魅力的な交流ゾーンの再生などを進めます。

- 津波防災・減災対策の確実な実施
- 津波浸水区域の住宅再建支援推進
- 新たな土地利用の推進
- 新時代の農業への転換に向けた拠点地域づくり
- 海岸公園の整備推進
- 東部地域のみどりの再生

復興が進む東部沿岸地域

3 地域の成長を牽引（けん）する企業・産業の創出

起業・創業の促進と中小企業の育成を図り、新技術の開発等による国内外の市場開拓など成長産業を創出し、地域経済の持続的成長を目指します。

- 中小企業活性化の推進
- 起業を生む社会システムの構築
- 多様な分野の産学連携推進
- 近未来技術の実証による新たなイノベーションの推進
- 農食ビジネス推進による強い農業の実現

起業を志す人同士の交流

4 まちに賑（にぎ）わいをもたらす新時代の交流促進

国内・海外からの誘客拡大に向け、東北全体との連携による広域観光の推進やコンベンション誘致を進めるとともに、交流人口拡大の芽となる人材交流を促進します。

- 国内外からの誘客、広域観光の推進
- 2020東京オリンピック・パラリンピック開催機会を捉えた交流促進
- 国内外の人材交流の促進
- 国内トップクラスのコンベンション都市の推進
- 来訪者が利用しやすい交通面での受け入れ環境整備

英語ボランティアによる案内（第３回国連防災世界会議）

5 まちの活力の源泉となる人材の定着・確保推進

専門的な知識や技術を習得した若者の仙台・東北への定着を促進するとともに、東京圏居住者の仙台での就職を促進します。

- 学生・若者の仙台への定着促進
- 若手起業家等育成による定着促進
- 地元大学等と連携した学生に対する地元企業の魅力発信
- 東京圏からのUIJターン（※）促進
- 学生・若者をひきつける企業の育成・誘致推進

※UIJターン：次の３つの人口還流現象の総称
①地方から大都市圏へ移住後、地方へ戻る（Uターン）
②大都市圏から地方へ移住（Iターン）
③地方から大都市圏へ移住後、中規模な都市へ移住（Jターン）

6 未来につなぐ子どもを育む環境づくり

幼児期から社会人まで切れ目のない教育を推進するとともに、いじめ撲滅に向けた施策を推進します。また、安心して子育てできる環境づくりや子育て世代にとって魅力ある地域づくりを進めます。

- 幼児期からはじまる切れ目のない教育の推進
- いじめ撲滅に向けた施策の総合的な推進
- 安全･安心な子育て環境･サービスの充実
- 仕事と子育てを両立しやすい社会づくり

子育て応援施策を総合的に推進

7 多様な暮らしを支える生活環境づくり

被災された方々の生活再建を最優先の課題としつつ、市民が生涯を通じて質の高い生活を送れるよう、健康寿命の延伸につながるまちづくりや安全・快適な生活環境の整備を進めます。

- 被災された方々一人ひとりの生活再建
- 生涯を通じて健康に暮らせるまちづくり
- 安全で安心して暮らせるまちづくり
- 多様な居住ニーズに合った住環境の維持・創出
- 快適な都市住環境づくりに向けた交通手段の有機的な連携推進
- 既存ストック（空き地・公共空間等）の活用や再生

健康管理のための「シニアステップアップ運動教室」

8 地下鉄沿線を舞台とした活力を創出するまちづくり

文化・芸術・スポーツのほか、学びや発見にあふれる楽しいまちとしての魅力創造に向けた取り組みを進めます。また、交通手段や空き店舗等の既存資源を有効活用し、利便性と快適性の高い市街地の再構築を進めます。

- 東西線沿線まちづくりの推進
- 地下鉄によるまちの魅力、楽しさの創造
- 地下鉄をはじめとする交通手段の十分な活用
- 歩きたくなる都心の形成

国際センター駅（左）と青葉通一番町駅周辺のイベント

※詳しくは市役所本庁舎１階市政情報センター、宮城野区・若林区・太白区情報センター、区役所総合案内、総合支所または市ホームページhttp://www.city.sendai.jp/shisei/1219461_1984.htmlでご覧いただけます
この特集に関するお問い合わせは政策企画課☎214･1245